

取扱説明書

.....
パソコンをお使いになる前に必要な
接続と準備を説明しています。

**電源を入れる前
にお読みください。**
.....



はじめに

このたびは、FMV-BIBLOをお買い求めいただき、ありがとうございます。本書は、パソコンを使い始めるために必要な準備と本パソコンの概要について説明しています。

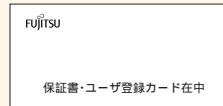
本書がみなさまのお役に立つことを願っております。

1999年1月

保証書について

保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。

- 修理を依頼される際には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となりますのでご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- 本パソコンの保守部品の供給期間は、製造終了後6年間とさせていただきます。



添付のCD-ROMとフロッピーディスクは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。



⚠ 注意

腰痛・腱鞘炎



パソコンを無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となることがあります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1時間に10分以上休憩をとってください。

- いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ひじは90度以上に伸ばして操作する。

目の障害



液晶ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。1時間に10分以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。

安全にお使いいただくために

- 添付の冊子『安全上のご注意』には、当製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。『安全上のご注意』をよくお読みになり、ご理解されたうえで本パソコンをお使いください。また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。本パソコンをお使いになる際は、マニュアルの説明に従ってください。
- 警告ラベルは、絶対にはがさないでください。

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。


(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

本装置の使用環境は、温度5～35℃、湿度20～80%です。また、保存環境は、温度-10～60℃、湿度20～80%です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ及び複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（）は、参加各国の間で統一されています。



使用許諾契約書

このたびは、製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。弊社では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの特定ソフトウェアに関する「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件


- 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において同時に1台のコンピュータでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1式の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 複製
1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限定されるものとします。本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、お客様は本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
- 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェアを第三者へ譲渡する場合には、お客様が保有する本ソフトウェアの複製物のすべてを破棄するか、本ソフトウェアとともに第三者に譲渡してください。
- 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- アフターサービス（保証の範囲）
1) 弊社は、お客様がユーザー登録を行っていただいた場合、本パソコンをご購入いただいた日から1年間、本ソフトウェアの改訂版（レベルアップ版等）に関する情報等をお知らせいたします。
2) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から90日以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
3) 弊社は、前各号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失、その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
4) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は弊社が行う上記1)および2)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

本書の表記について



安全にお使いいただくための絵記号について

本パソコンを安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。


記号の例とその意味	
	▲で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容（左図の場合は、指のはさみ込み注意）が示されています。
	●で示した記号は、必ずしたがっていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は、一般的な強制事項）が示されています。

その他の記号について



 **重要** お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。

 操作に困ったときの対処法などを記述しています。必要に応じてお読みください。

 **アドバイス** 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

 **ポイント** 初めてパソコンをお使いになる方に、操作のヒントを記述しています。

 参照先を記述しています。

 ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
 の中に番号がある場合は、マニュアルの表紙の番号を示しています。

イラストと画面例について

表記されている画面は一例です。お使いのモデルによって、画面が若干異なる場合があります。

製品の呼びかたについて

製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98
Microsoft® Word98 for Windows®	Word
一太郎9パック	一太郎

機種名の表記について

次のように略して表記しています。

機種名	本書での表記
FMV-BIBLO NSIX26X	本パソコン

目次 ~これからやること~

本書で紹介する内容は以下のとおりです。作業をスムーズに行うためにあらかじめ全体を把握しておきましょう。

■必ず行っていただく操作です

STEP1 接続する 2

パソコンの箱を開けると、いろいろな物が入っています。ここでは、初めての準備に必要な物だけを接続します。

STEP2 初めて電源を入れる ~Windows98のセットアップ~ 8

セットアップは、はじめてパソコンを使うときに必要です。本書を見ながら、ゆっくり確実に行ってください。

■パソコンの使いかたの紹介です

パソコン各部の名称 20

最初を知っておきたい各部の名称と役割について紹介します。

電源の切りかたと入れかたを覚える 22

電源を切る前の確認と、切りかた入れかたを説明しています。パソコンは、一般の家電製品と大きく異なります。とても重要なので正しい方法を覚えてください。

パソコンの基本操作を覚える 26

「パソコンは初めて…」という方は、CD-ROM『かるがるパソコン入門』を使って、楽しみながらパソコンの基本操作を覚えましょう。

使いかたアドバイス 28

パソコンを使いこなすためのヒントを紹介します。

👉ポイント

フラットポイントの使いかた 11

キーボードに慣れていない方は 13

画面が真っ暗になっているときは 23

STEP 1

接続する

ここでは、必要なものだけを接続します。

必要なものを用意する

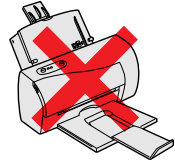
あらかじめ、以下のものをご用意ください。このあとの作業で必要になります。



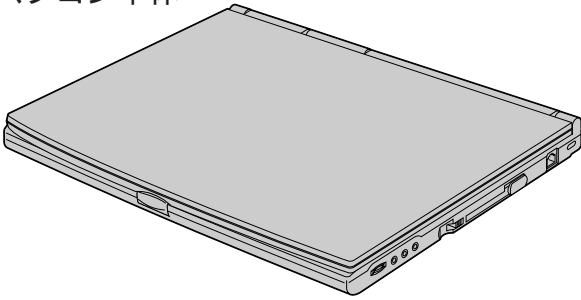
重要

その他の機器の接続は、セットアップが済んでから

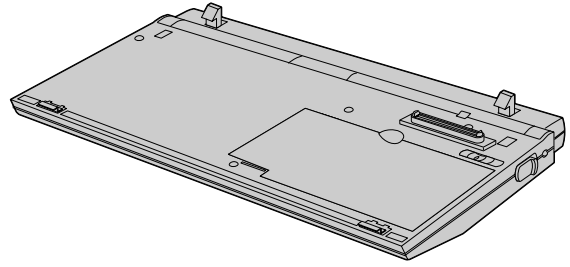
本パソコンに添付されていない機器（プリンタなど）や、ここで説明していない添付品は、Windows98のセットアップ（STEP 2の作業）が完了してから接続してください。セットアップの前に接続すると、作業を正常に行えないことがあります。



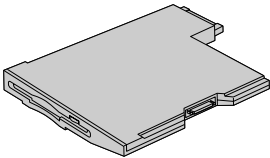
パソコン本体



コンパクトベース



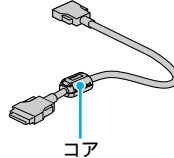
内蔵FDDユニット



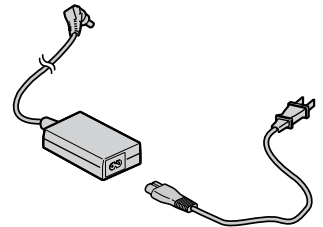
コネクタカバー



FDDケーブル



エーシー ACアダプタ



『お役立ちシート』



Windows
98

『ファーストステップガイド』

STEP 2の作業で必要になります。



①『わかるパソコン入門』

添付のマニュアル（CD-ROM付き）です。セットアップが済んでから、パソコンの基本操作を学習するときに使います。巻末にCD-ROMがあります。



アドバイス

その他の添付品は、本書では使いません

パソコンのセットアップが完了してから、必要に応じてご利用ください。

接続する

ここでは、コンパクトベース、内蔵FDDユニット、ACアダプタを接続します。

注意

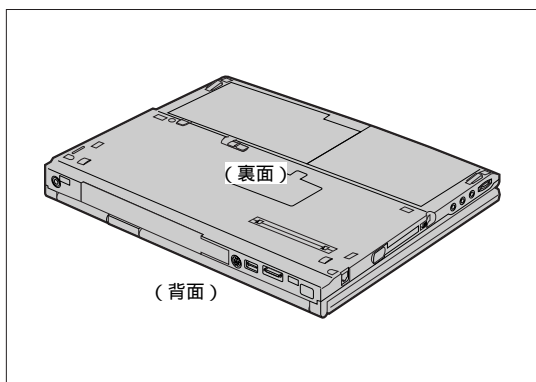


故障
間違えないように接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。



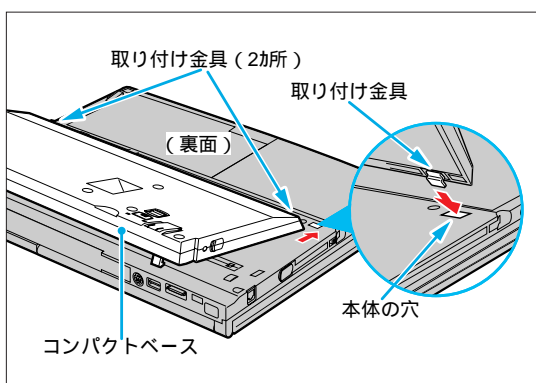
けが
コンパクトベースをパソコン本体に取り付ける場合は、指をはさまないように注意してください。
けがの原因となることがあります。

1



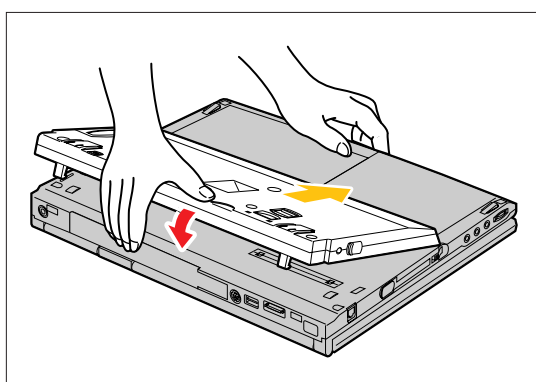
パソコン本体を裏返し、背面を手前にします。

2



コンパクトベースの取り付け金具（2カ所）を、パソコン本体の穴にはめ込み、突き当たるまで差し込みます。

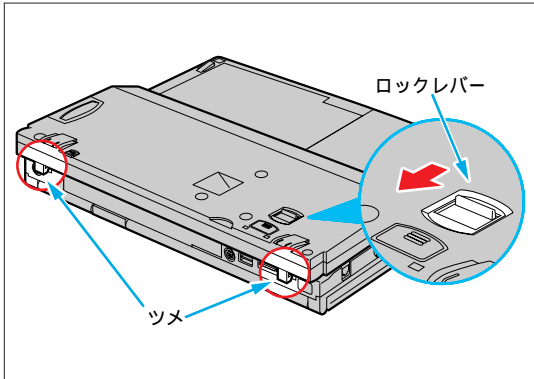
3



本体とコンパクトベースをしっかり持ちます。コンパクトベースを黄色の矢印の向きに押しつけながら、静かに降ろします。

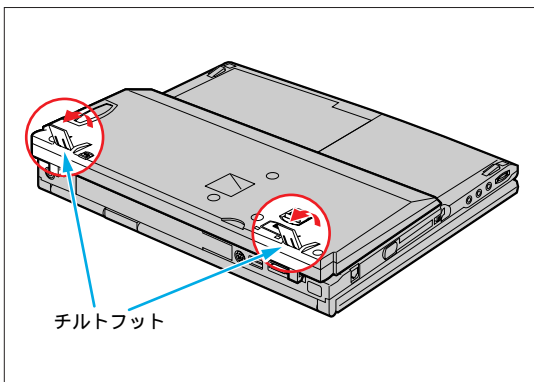
カチッという手応えがあるまでしっかり降ろします。

4



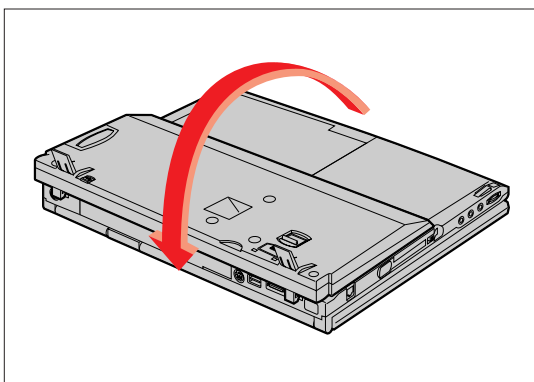
ツメがロックしているか確認し、ロックレバーをスライドします。

5



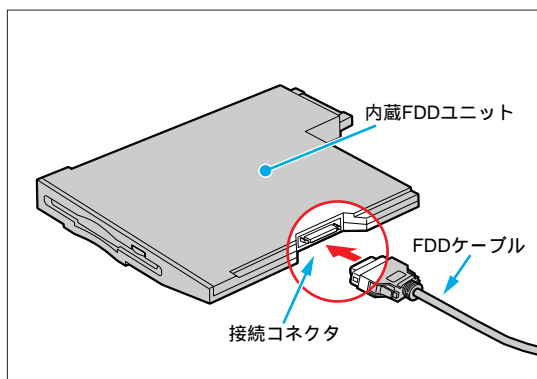
チルトフット（2カ所）を起こします。

6



パソコン本体を裏返します。

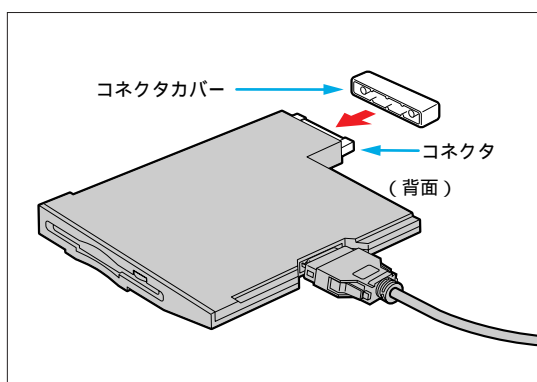
7



FDDケーブルのコアがない方のコネクタを、内蔵FDDユニットの接続コネクタに接続します。

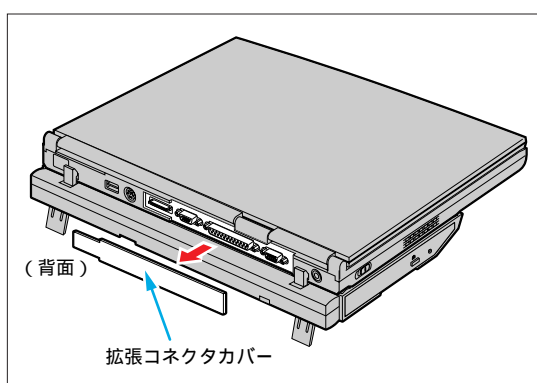
コネクタは正面から見ると台形になっています。コネクタの上下の向きを確認し、奥までしっかり差し込んでください。

8



コネクタカバーを内蔵FDDユニットの背面のコネクタに取り付けます。

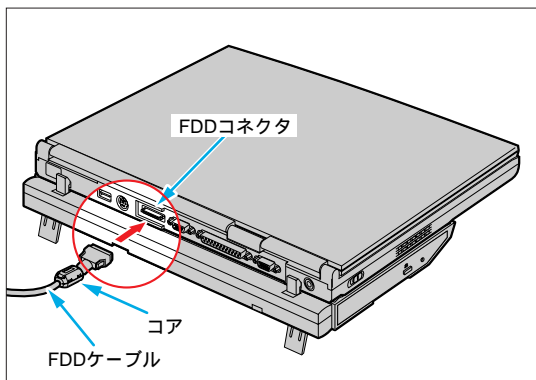
9



パソコン本体背面の拡張コネクタカバーを取り外します。

拡張コネクタカバーは、なくさないように保管してください。

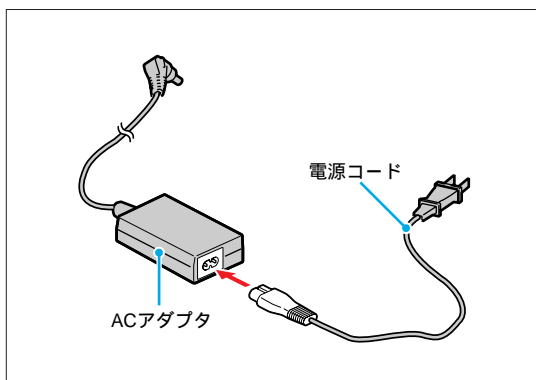
10



FDDケーブルのコアがある方のコネクタを、パソコン本体のFDDコネクタに接続します。

コネクタは正面から見ると台形になっています。コネクタの上下の向きを確認し、奥までしっかり差し込んでください。

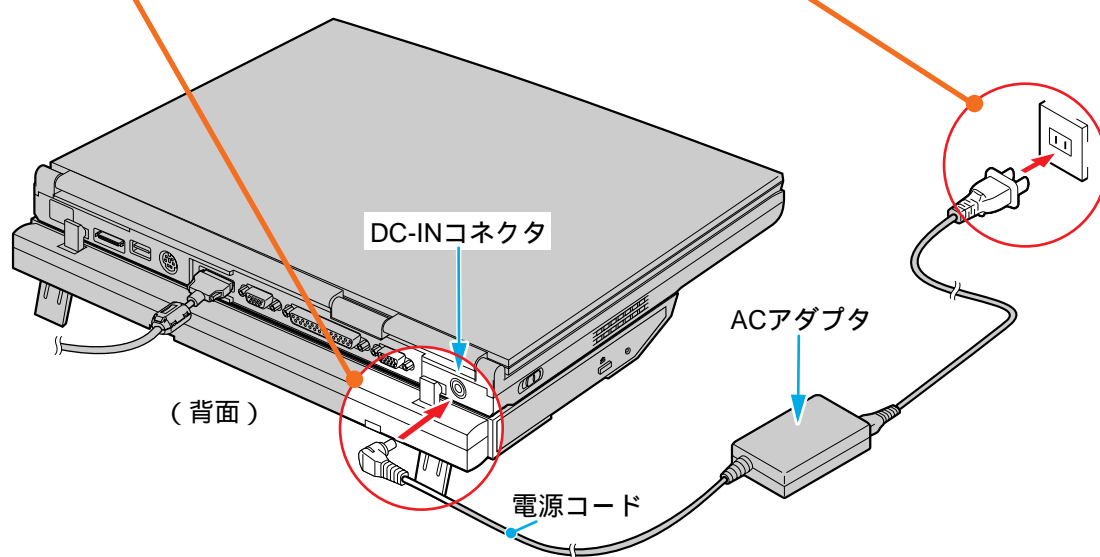
11




電源コードを、ACアダプタに接続します。

12 ACアダプタを、パソコン本体背面のDC-INコネクタ^{ディーシーイン}に接続します。

13 電源プラグを、コンセントに差し込みます。




 アドバイス

PS/2マウス（別売）を使いたい方は

マウスは、セットアップの前に接続することができます。

マウスを接続すると、フラットポイントは使えなくなります。

接続のしかたについては、 『FMV 本体&オプションガイド』の「マウス/テンキーボードを接続する」をご覧ください。

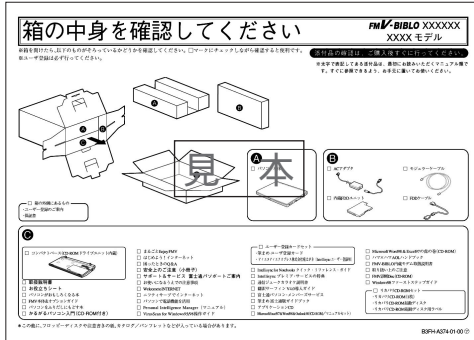
初めて電源を入れる ~Windows98のセットアップ~

ウィンドウズ

ここでは、初めて電源を入れたときに1回だけ行う準備について説明します。

セットアップを始める前に

1



添付品の確認は済んでいますか？

まだ確認していない方は、『箱の中身を確認してください』をご覧になり、すべての添付品がそろっているか、確認してください。

2

ここに記入してください

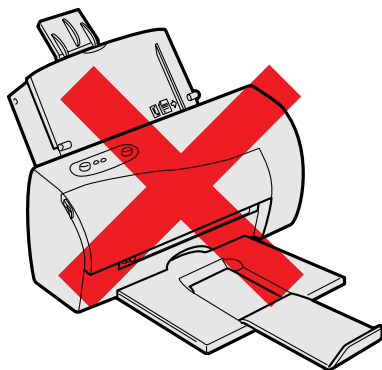


機種名とワープロソフトのモデル名 (Word/一太郎) を『お役立ちシート』に記入してください。

パソコンが入っていた箱を見て機種名を、『箱の中身を確認してください』を見てモデル名を記入してください。
機種名とモデル名は、マニュアルを読むときや、電話相談の際に必要です。



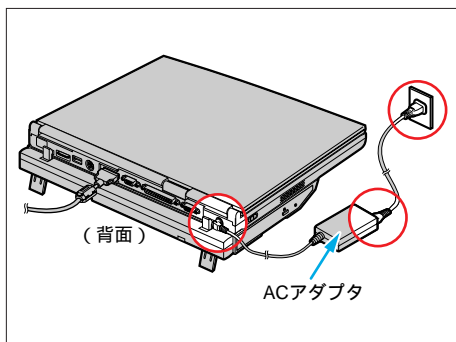
3



プリンタなどが接続されていないことを、確認してください。

本書で説明していない添付品や、その他の機器が接続されている場合には、必ずセットアップの前に取り外してください。
接続されていると、**セットアップの途中でパソコンが動かなくなる**ことがあります。

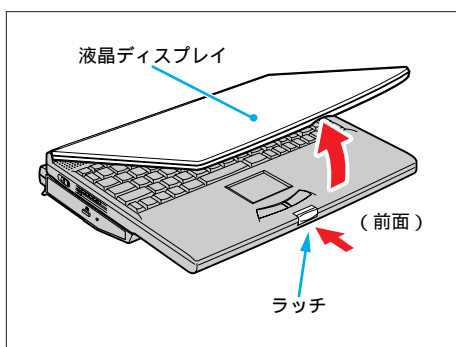
4



ACアダプタは、きちんと接続されていますか？

念のため、もう一度お確かめください。
まだ接続していない方は、「STEP1 接続する」(●▶ P.2) をご覧になって接続してください。

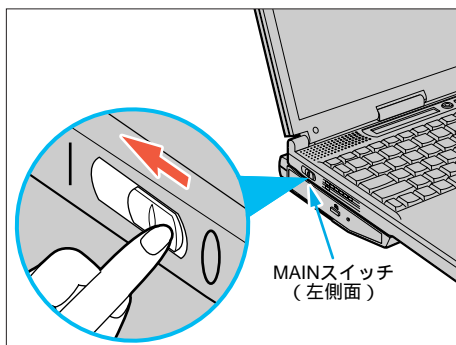
5



液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開きます。

6



電源を入れます。

MAINスイッチを、パソコンの奥側(| と の、 | 側) にスライドします。

しばらくお待ちください
(3分以上かかることがあります)

電源を入れると、さまざまな文字などが表示されます。

アドバイス

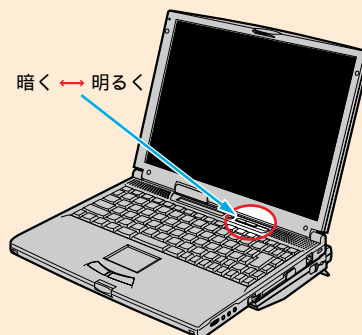
メッセージが表示されたら

MAINスイッチの入/切を繰り返すと、「前回の起動が正常に完了しませんでした」というメッセージが表示されることがあります。▽に進むには、[F1] を押してください。

アドバイス

液晶ディスプレイの調節

角度と明るさを調節します。
角度調節のとき、ディスプレイの液晶を押さないように動かします。
明るさは、キーボードの奥のボタンをスライドして調節します。



Windows 98のセットアップをする

セットアップには30分から1時間ほどかかります。
本書を読みながら、ゆっくり確実に操作してください。



操作上のご注意

セットアップが終わるまで、電源は切らないで!

途中で電源を切ると、ハードディスクのデータが壊れて、**パソコンが使えなくなる**ことがあります。

電源の切りかたは、セットアップのあとで説明しています。



画面が真っ暗になったら

電源を入れた状態でしばらく(約15分)操作しないと、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。これはパソコンの「一時停止」の機能が働いている状態です。SUS/RESスイッチを押すと、元の画面に戻ります。

操作を間違えたときは

「しまった!」と思ったときは、あわてずに **!?** マークの項目を見てください。

各ページの右側の欄で、間違えたときの対処のしかたなどを説明しています。



アドバイス

Windows 98とは?

パソコンを使うときに必要な「基本ソフトウェア」で、「OS (オペレーティングシステム)」と呼ばれるものの1つです。

セットアップとは?

Windows 98をお使いになるうえで、最初に必要となる設定操作のことです。

7



フラットポイントの説明が始まります。

画面に表示される説明に従って、フラットポイントの操作を練習してください。練習を終らせると、8の画面に進みます。

アドバイス

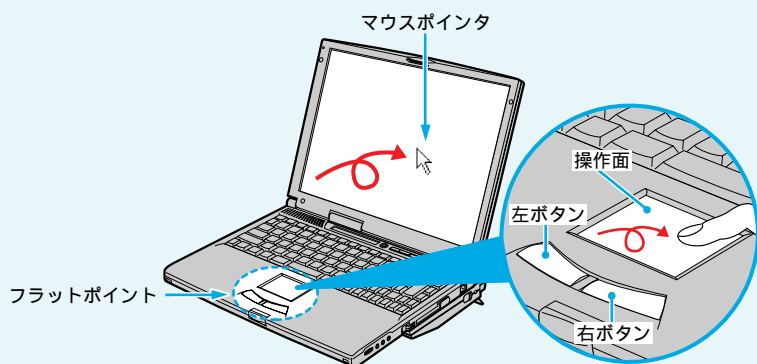
ボタン操作のご注意

クリックなどでフラットポイントのボタンを押すとき、左右ボタンの内側寄りの部分を押すと、反応しないことがあります。

ポイント フラットポイントの使いかた

フラットポイント（またはマウス）の操作は、本パソコンでWindows 98を使う上での基本になります。

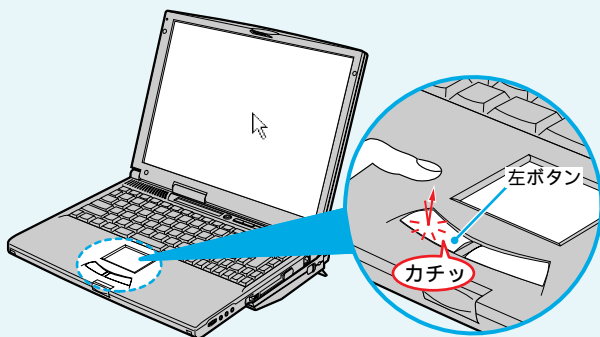
指先で操作面をなぞると、画面上の ☞ （マウスポインタ）が、指の動きに合わせて移動します。



☞ で、画面に表示されているボタンなどを指し示し、「クリック」という操作によってパソコンに指示を与えます。

クリックのしかた

☞ の先端を目的の位置に合わせ、フラットポイントの左ボタンをカチッと押して、すぐに離します。



アドバイス

指が、操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。

マウスをお使いの方は

平らな面の上でマウスを滑らせると、マウスの動きに合わせて ☞ が移動します。クリックの操作は、マウスの左ボタンで行います。

アドバイス

うまくクリックできないときは

なるべくボタンの中央部分を押しようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、 ☞ の位置がずれないように、気を付けてください。

操作面を軽くたたいても、クリックになります

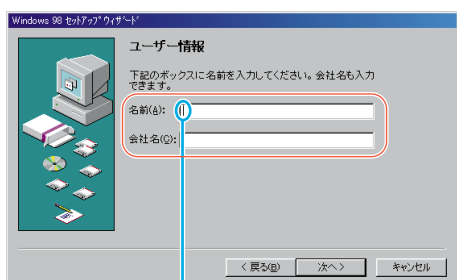
フラットポイントは、操作面だけでクリックができるようになっています。操作面に指をのせるときに、間違っってクリックしないように注意してください。

8



練習が終わってからこの画面が出たら、フラットポイントの操作面を、軽くなぞってください。

9



カーソル
文字は点滅している「|」の位置に入力されます。

「名前」の欄に名前を入力します。

文字入力のしかたは、次ページの **ポイント** 「キーボードに慣れていない方は」をご覧ください。個人でお使いになるときは、「会社名」は省略できます。

重要

ワープロ専用機とは文字入力のしかたが違います

初めてパソコンをお使いになる方は、必ず次ページの **ポイント** 「キーボードに慣れていない方は」をご覧ください。

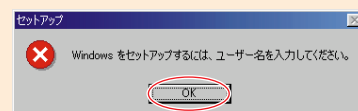
10

名前が正しく入力できたか、確認します。

修正するときは、次ページの **ポイント** 「キーボードに慣れていない方は」をご覧ください。

! 「ユーザー名を入力してください。」と表示されたら

「OK」をクリックすると、元の画面に戻ります。



! 「使用許諾契約書」の画面に変わってしまったら

「戻る」をクリックしてください。

< 戻る(B)

! 文字が入力できないときは

入力したい欄をクリックして、カーソルを表示させます。



アドバイス

入力する欄を変えるときは
入力したい欄をクリックしてください。

ポイント キーボードに慣れていない方は

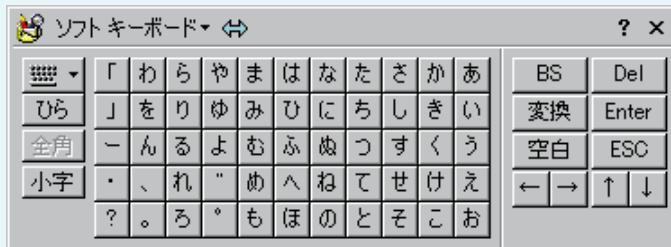
ここでは、50音配列の「ソフトキーボード」を使います。文字は点滅している「|」(カーソル)の位置に入力されます。漢字を入力する必要はありません。

1 「ソフトキーボード」を表示させます。

画面右下にある  あ般  の、  をクリックします。



「ソフトキーボード」が表示されます。



2 入力したい文字のボタンを、順にクリックします。

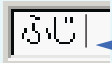
例：「ふじ」と入力するときは、


、、

 (下線付きで表示されます)

3 を1回だけクリックします。




文字の入力が完了します。

 (下線が消えます)

 は、2回以上続けてクリックしないように注意してください。


4 「ソフトキーボード」を閉じます。

「ソフトキーボード」は、使い終わったら閉じておきましょう。


 あ般  の、  をクリックします。



アドバイス

「や」「ゆ」「よ」「つ」などの、小さい文字を入力するには

 をクリックしてから、入力したい文字のボタンをクリックします。

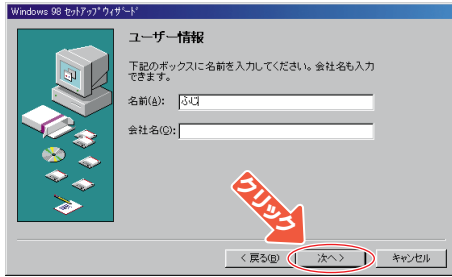
 入力を間違えたときは

「|」(カーソル)の左側の1文字を消すには：
 をクリックします。

「|」(カーソル)を左右に移動するには：
 または  をクリックします。

(このあとは、 へ戻ります)

11

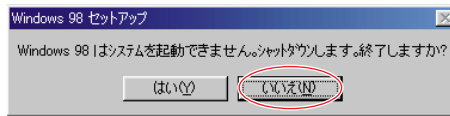


「次へ」をクリックします。

重要

19 までは、「キャンセル」をクリックしないでください

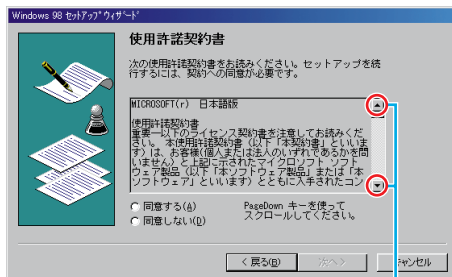
「キャンセル」をクリックすると、セットアップが中止されてしまいます。確認の画面が表示されるので、セットアップを続けるときは「いいえ」をクリックしてください。



!? 電源が切れてしまったときは

セットアップを中止してパソコンの電源が切れてしまったときは、もう一度パソコン本体のMAINスイッチを手前（側）にスライドして、6 (P.9) からやり直してください。

12



「使用許諾契約書」の内容をよくお読みください。

隠れている文章を表示するには、スクロールボタンをクリックしてください。

スクロールボタン
クリックすると文章が上下します。

!? 前の画面に戻るには

「戻る」をクリックします。

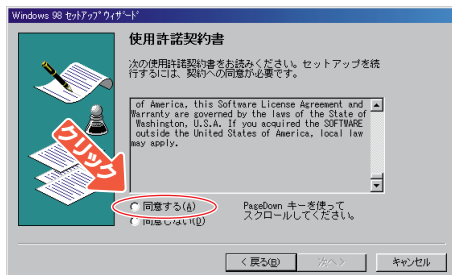
< 戻る(B)

アドバイス

「使用許諾契約書」とは？

Windows 98をお使いになる上で守っていただきたいことなどが書かれています。

13

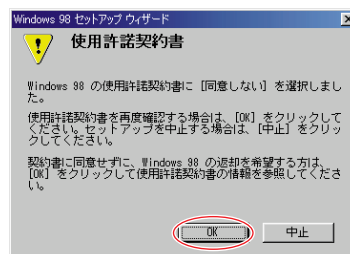


契約内容に同意していただける場合は、「同意する」をクリックして☑️を☑️にします。

重要

「同意しない」をクリックしたときは

「同意しない」の左が☒️になっている状態で次へ進むと、セットアップが中止され、Windows 98を使うことができません。確認の画面が表示されるので、セットアップを続けるときは「OK」をクリックしてください。

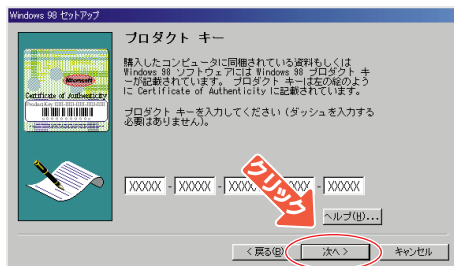


17

入力したプロダクトキーが間違っていないか、確認します。

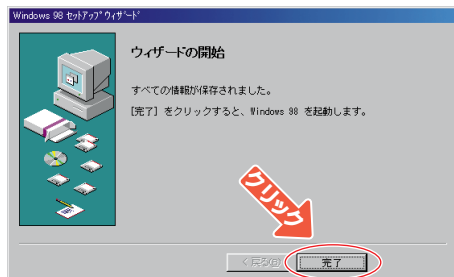
修正するときは、**16**に戻って入力し直してください。

18



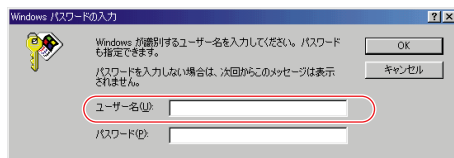
「次へ」をクリックします。

19



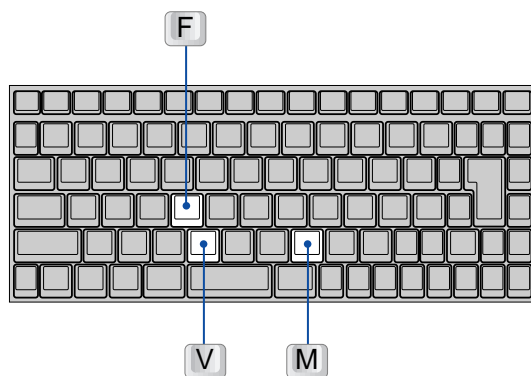
「完了」をクリックします。

20

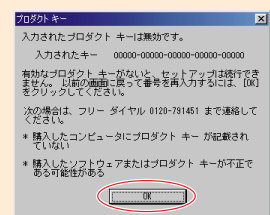


「ユーザー名」を英字（アルファベット）で入力します。

ここでは、「fmv」と入力してください。**F**、**M**、**V**を順に押すと入力できます。パスワードを入力する必要はありません。

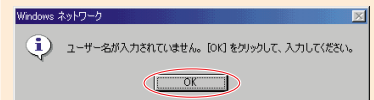


!? 「入力されたプロダクトキーは無効です。」と表示されたら「OK」をクリックして**16**に戻り、プロダクトキーを入力し直してください。

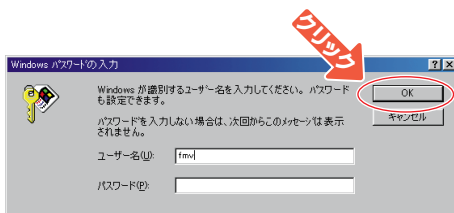


!? メッセージが表示されたときは

下のような画面が表示されたときは、「OK」をクリックしてください。



21



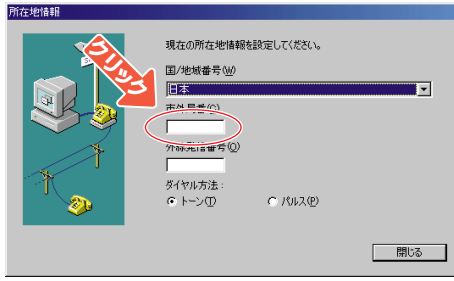
「OK」をクリックします。

22



「閉じる」をクリックします。

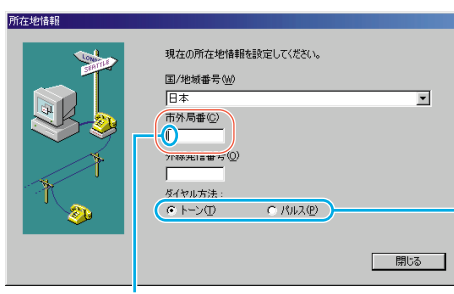
23



「市外局番」の下の空欄をクリックします。


クリックすると文字を入力するためのカーソルが表示されます。

24



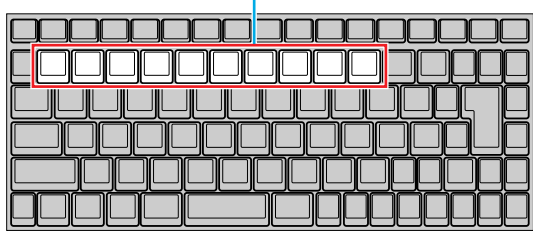
パソコンをお使いになる場所の市外局番を入力します。

電話回線の設定も確認してください。

インターネットなどに使う電話回線の種類を設定します。プッシュ回線の場合は、「トーン」にしておきます。ダイヤル回線をお使いになる場合は、「パルス」をクリックして  にします。回線の種類がわからない場合は、「トーン」にしておいてください。

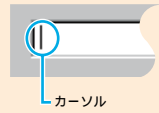
カーソル(点滅している)の位置に文字を入力できます。

数字を入力するキーです。

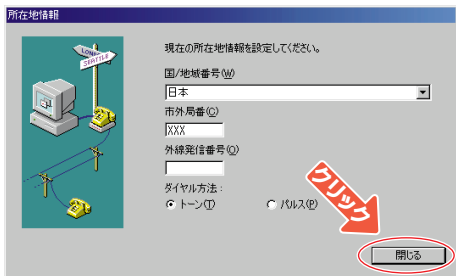


!? 市外局番がわからないときは
適当な数字を入力して、次の手順に進んでください。
市外局番や電話回線の設定は、あとから変更することができます。詳しくは、**3**『はじめよう！インターネット』の「パソコンの所在地情報を変更する」をご覧ください。

!? 数字が入力できないときは
「市外局番」の欄にカーソル(|)が点滅していることを確認してください。カーソル(|)がないときは、クリックしてカーソルを表示させます。

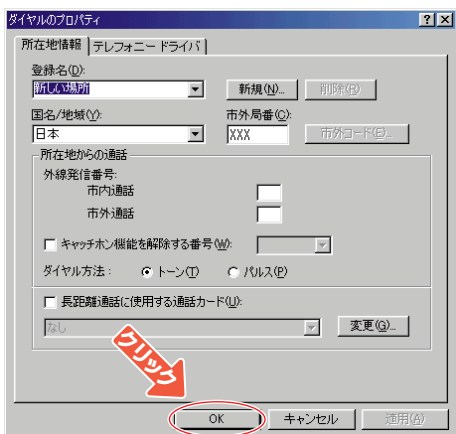


25



市外局番が正しく入力できたか確認し、「閉じる」をクリックします。

26



「OK」をクリックします。

しばらくお待ちください
(1分以上かかることがあります)

さまざまな画面が表示され、
自動的に設定が行われます。

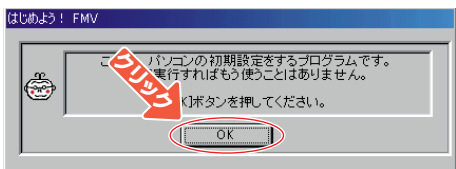
27



「はじめよう! FMV」をクリック
します。

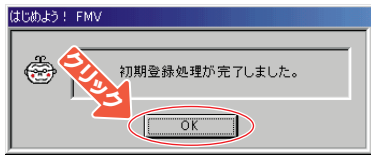
(これ以降の画面は、モデルにより若干異なります)

28



「OK」をクリックします。

29

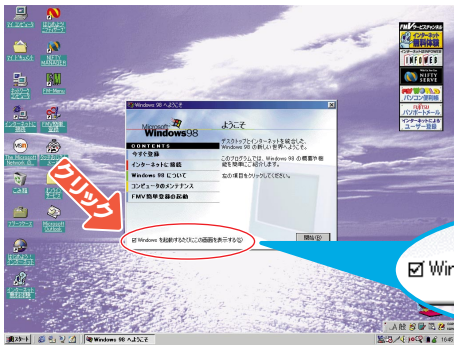


「OK」をクリックします。

しばらくお待ちください
(2分以上かかることがあります)

Windows 98がいったん終了して、再び起動します。

30



「Windows 98を起動するたびにこの画面を表示する」の左の をクリックして にします。

Windows を起動するたびにこの画面を表示する

31



(閉じるボタン) をクリックします。

これで、Windows 98のセットアップ作業は、すべて完了しました。

アドバイス

「Windows 98へようこそ」画面について

「Windows 98へようこそ」の画面を再び表示させるときは、『4』困ったときのQ&Aの「Windows 98へようこそ画面を表示させたい」をご覧ください。

FMV簡単登録について

「Windows 98へようこそ」画面にある「FMV簡単登録」は、本パソコンのユーザー登録、アプリケーションのユーザー登録などを電話回線を使って簡単に行うものです。電源を入れたあとの画面（デスクトップ）にも同じものがあります。詳しくは添付の冊子『かんたん！ユーザー登録』をご覧ください。



重要

本書と『ファーストステップガイド』は、大切に保管してください。何らかの原因でパソコンが動かなくなってしまったとき、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。その場合、もう一度このセットアップ作業を行います。Windows 98の『ファーストステップガイド』が必要になりますので、本書と共に大切に保管してください。



パソコン各部の名称

ここでは、最初に知っておきたい各部の名称と役割について紹介します。

エルシーディ 状態表示LCD

パソコンの状態を表示します。

主なものを紹介します。



パソコンを使っているときに表示されます。一時停止中は点滅します。

ACアダプタでパソコンを使っているときか、充電しているときに表示されます。

バッテリーの状態が表示されます。

バッテリーの充電中に表示されます。

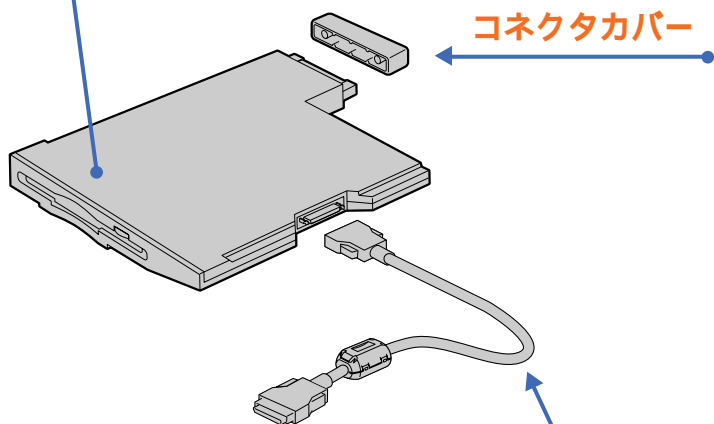
バッテリーの残量が表示されます。

シーディーROMを定期的にチェックしているときや、データを使っているときに表示されます。

ハードディスク、 フロッピーディスクのデータを使っているときに表示されます。

内蔵FDDユニット

フロッピーディスクを使うときに、パソコン本体またはコンパクトベースに取り付けます。



コネクタカバー

FDDケーブル

パソコン本体と内蔵FDDユニットを接続するときに使います。

液晶ディスプレイ

パソコンの画面を表示します。液晶はデリケートなので強く押したり、硬いものをあてたりしないようご注意ください。

スピーカー

パソコンの音を出します。本体の両側にあります。

メイン MAINスイッチ

電源を入れるときに使います。電源を切るときは、必ず正しい方法で切ってください。
(●▶ P.22)

チルトフット

コンパクトベースをパソコン本体に取り付けているときに、安定させるために使います。

シーディーROM 内蔵CD-ROMドライブユニット

CD-ROMを入れます。ボタンを押すと、トレイが出てきます。CD-ROMを使うときは、コンパクトベースへ取り付けます。

コンパクトベース

内蔵CD-ROMドライブユニットや内蔵FDDユニット、別売の内蔵バッテリーユニットなどを使うときに、取り付けます。

サスペンド/レジューム スイッチ (SUS/RESスイッチ)

パソコンを一時停止するときに押します。
もう一度押すと再開できます。

ブライツネス ボリューム

液晶ディスプレイの明るさを調節
します。(左：暗く 右：明るく)

キーボード

文字を入力するときなどに使います。


音量ボリューム

スピーカーの音量を調節します。
(奥：大きく 手前：小さく)

ヘッドホン・ジャック

ヘッドホン(別売)をつなぎます。

フラットポイント

画面の中のマウスポインタ( など)
を動かして、絵や文字を操作します。

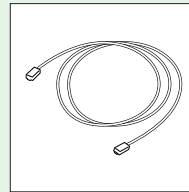
エーシー ACアダプタ

パソコンをコンセントにつなぎます。

アドバイス

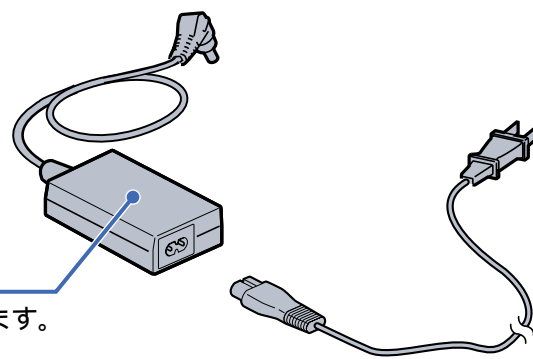
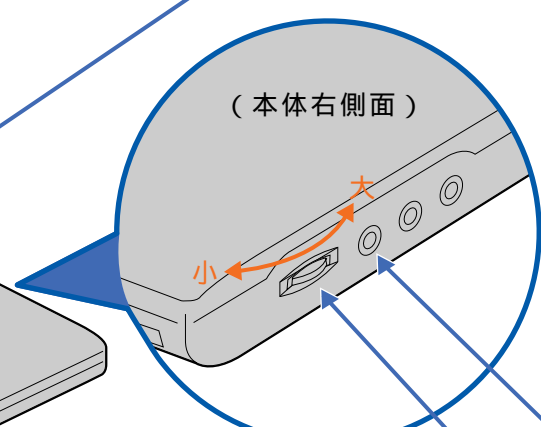
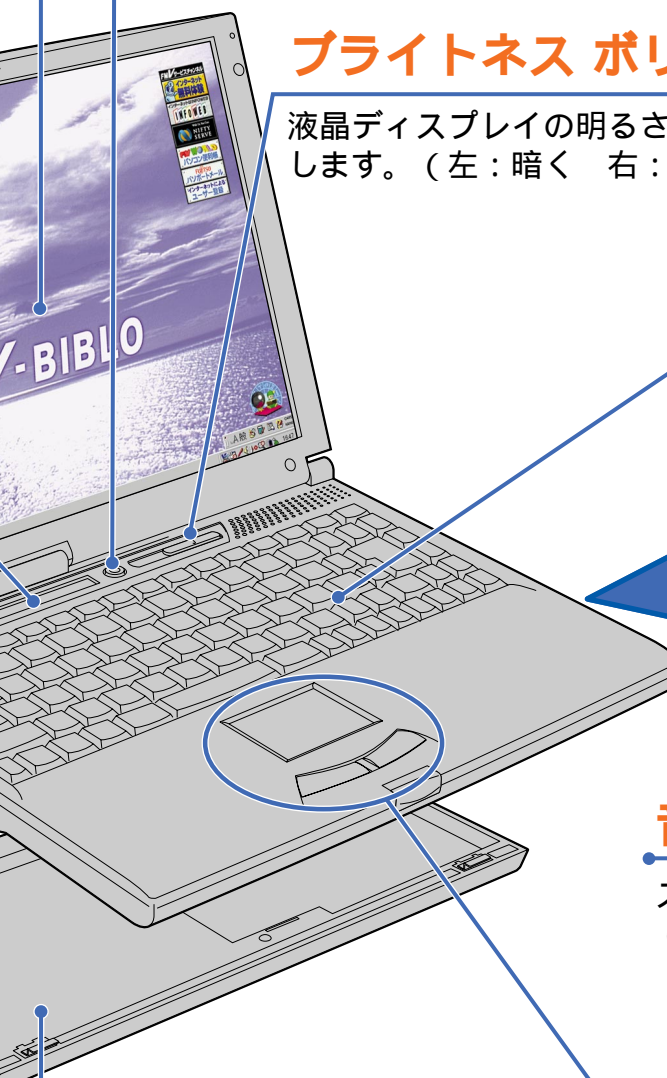
その他の添付品

以下の添付品について簡単に紹介します。



モジュラーケーブル

パソコン通信やインターネット
などで、電話回線に接続する
ときに使います。



その他の各部の名称などについてさらに詳しく知りたい方は、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。

電源の切りかたと入れかたを覚える

パソコンの電源の切りかたや入れかたは一般の家電製品と大きく違います。とても重要なので正しい方法を覚えてください。

電源を切る前の確認をする

パソコンにフロッピーディスクやCD-ROMが入っているときは、電源を切る前に取り出しておきましょう。

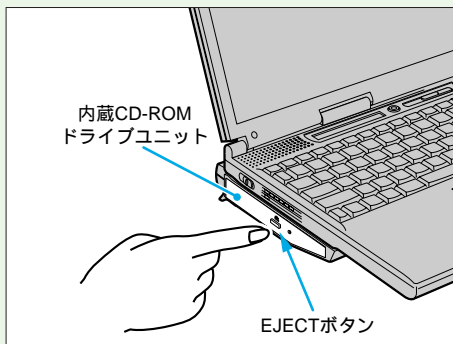
⚠注意

けが フロッピーディスクまたは、CD-ROMを取り出すときは、フロッピーディスクドライブの差し込み口または、CD-ROMドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

CD-ROMは入っていませんか？

CD-ROMが入っていたら、取り出してください。

1

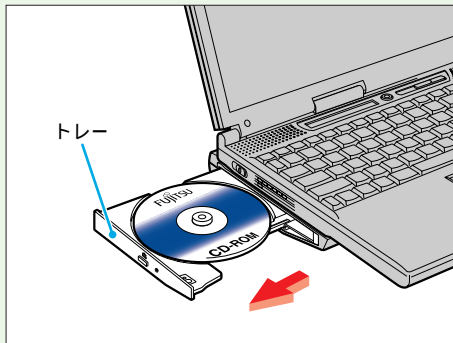


イジェクト
EJECTボタンを押すと、トレイが少し出てきます。

💡アドバイス

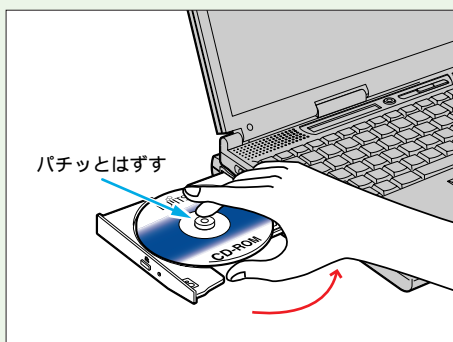
CD-ROMを入れたままだと...
パソコンの電源を切ってしまうと、CD-ROMは取り出せません。

2



出てきたトレイを手で引き出します。

3



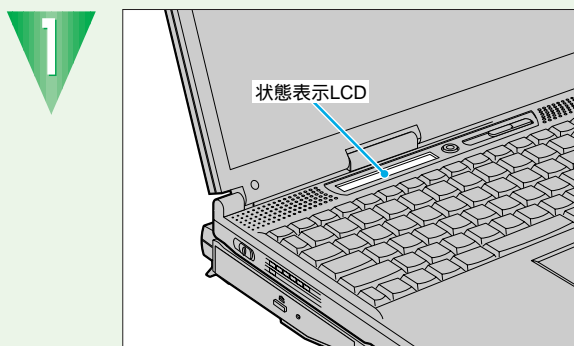
CD-ROMをトレイから取り出します。

CD-ROMを取り出したら、カチッと音がするまでトレイを静かに押し込みます。



フロッピーディスクは入っていませんか？

フロッピーディスクが入っていたら、取り出してください。

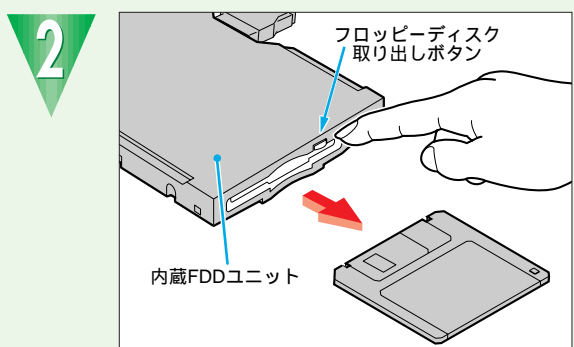
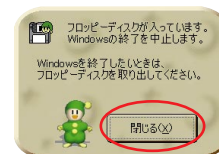


状態表示LCDに マークが表示されていないことを確認します。

アドバイス

フロッピーディスクを入れたままだと...

メッセージが表示されます。「閉じる」をクリックし、左の手順に従ってフロッピーディスクを取り出してください。



内蔵FDDユニットのフロッピーディスク取り出しボタンを押して、フロッピーディスクを取り出します。

フロッピーディスクを使うときは...
内蔵FDDユニットをコンパクトベースに取り付けて使う場合があります。コンパクトベースへの取り付けや取り外しの方法については、『FMV本体&オプションガイド』をご覧ください。

ポイント 画面が真っ暗になっているときは

画面が真っ暗になっているときは、電源が入っていないときと、一時停止しているときがあります。電源が入っているのに誤ってMAINスイッチを切ることがないように、次のような方法で確認することをお勧めします。

- ① が点灯しているとき：何かキーを押す。フラットポイント（またはマウス）に触れる
- ① が点滅しているとき：SUS/RESスイッチを押す
一時停止しているときは、15秒くらいで元の画面が表示されます。
- ① が消灯しているとき：MAINスイッチを確認する

電源の切りかた

正しい切りかたを覚えてください。

重要

電源を切るときは、いきなりMAINスイッチで切らないでください。

直接MAINスイッチで電源を切ると、パソコンが故障したり、動作がおかしくなる原因になります。



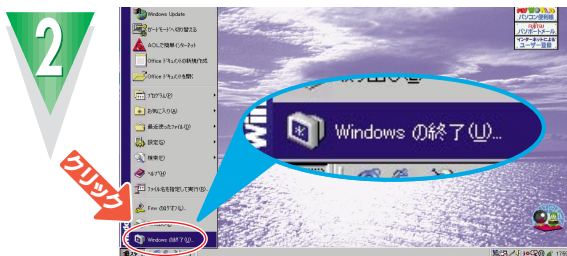
「スタート」ボタンをクリックします。

この、「スタート」のことを、「スタート」ボタンといいます。

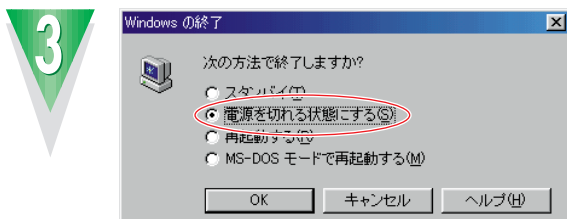
アドバイス

電源を切る前に

あらかじめ、CD-ROMとフロッピーディスクを取り出してください (●▶ P.22)。



「Windowsの終了」をクリックします。

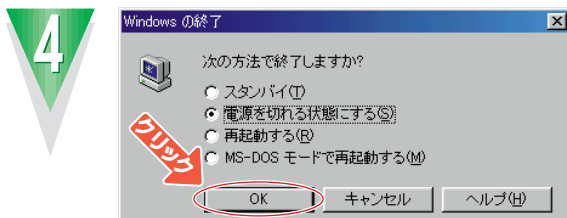


「電源を切れる状態にする」の左の☑を確認します。

アドバイス

☑になっているときは

クリックして、☑にしてください。



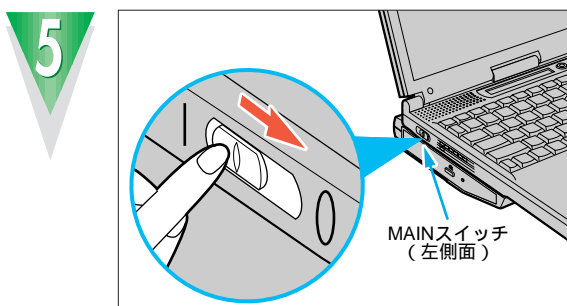
「OK」をクリックします。

しばらくすると状態表示LCDの①、②マークが消え、電源が自動的に切れます。

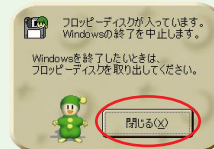
アドバイス

フロッピーディスクを入れたままだと...

メッセージが表示されます。「閉じる」をクリックし、フロッピーディスクを取り出してください (●▶ P.23)。



MAINスイッチを手前(側)にスライドします。



電源の入れかた

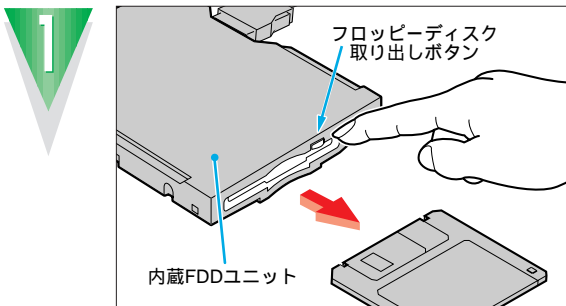
もう一度電源を入れてみましょう。



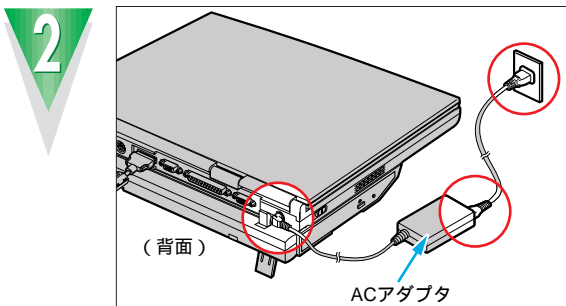
重要

電源を入れるときの注意

電源を切ったあとは、次に電源を入れ直すまで、10秒ほどお待ちください。

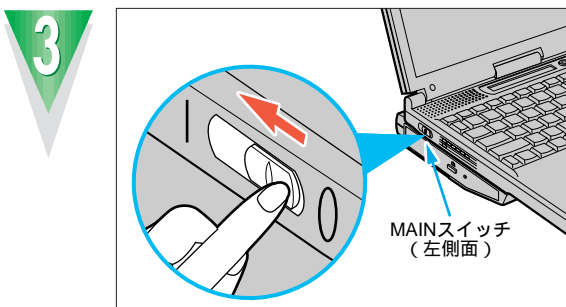


内蔵FDDユニットにフロッピーディスクが入っている場合は、フロッピーディスク取り出しボタンを押して取り出してください。



ACアダプタは、きちんと接続されていますか？

念のため、もう一度確認してください。



MAINスイッチを奥(| 側)にスライドします。

状態表示LCDに①マークが表示されます。そのまましばらくお待ちください。

しばらくお待ちください



このような画面が表示されたのを確認します。

(この画面は、モデルにより若干異なります)

アドバイス

フロッピーディスクを入れたままだと...

パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して を押してください。

フロッピーディスクを使うときは...

内蔵FDDユニットを、本体にFDDケーブルで接続して使う場合と、コンパクトベースに取り付けて使う場合があります。詳しくは、『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。

アドバイス

メッセージが表示されたままでWindows98が始まらないとき

『FMV 本体&オプションガイド』の「BIOSが表示するメッセージ一覧」をご覧ください。

パソコンの基本操作を覚える

CD-ROM『かるがるパソコン入門』で楽しみながらパソコンの使いかたを覚えることができます。ここでは、ACアダプタを接続してお使いください。

⚠ 注意



CD-ROMをセットするときは、CD-ROMドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

1



添付のマニュアル①『かるがるパソコン入門』を用意します。

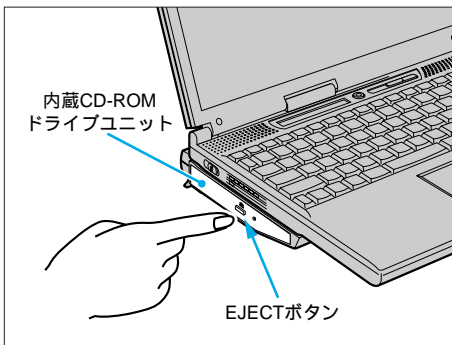
2



CD-ROM『かるがるパソコン入門』を取り出します。

マニュアル①『かるがるパソコン入門』の巻末にあります。

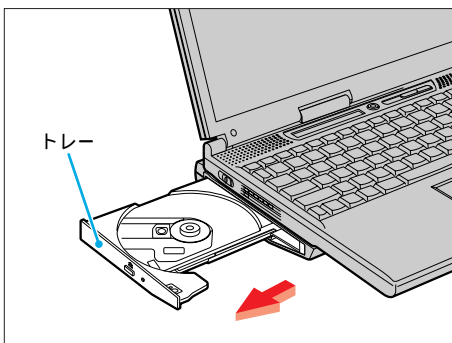
3



EJECTボタンを押します。

トレイが少し出てきます。

4



出てきたトレイを手で引き出します。

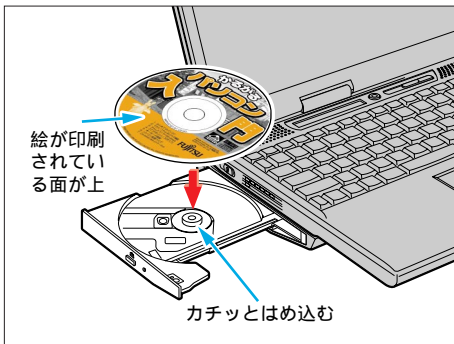
💡 アドバイス

電源は入っていますか？



(この画面は、モデルにより若干異なります)
上のような画面が表示されているか、確認してください。
電源が入っていないときは、「電源の入れかた」(▶▶ P.25)をご覧ください。なって、電源を入れてください。

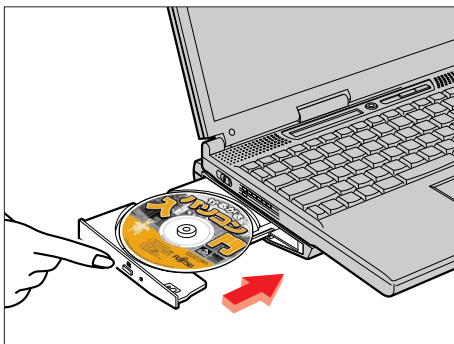
5



CD-ROMをセットします。
トレイを手で下から支えながら、カチッと音がするまでしっかりはめ込みます。

しっかりはめ込まないと、トレイが引き出せなくなります。

6



カチッと音がするまでトレイを静かに押し込みます。

そのまましばらくお待ちください。

重要

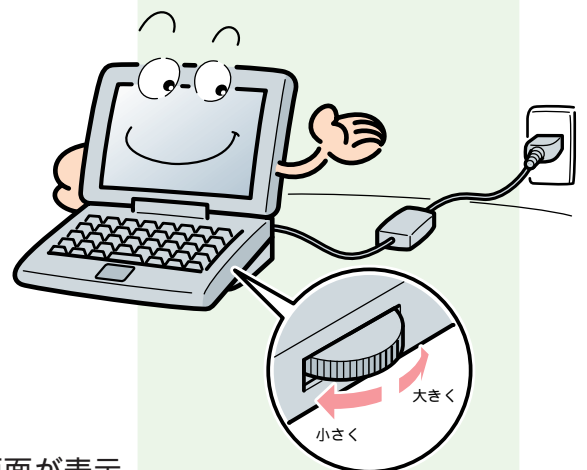
フラットポイント（またはマウス）はさわらない
最初の画面が表示されるまで、さわらないでください。

7



アドバイス

音量を調節しましょう



しばらくすると、『わかるパソコン入門』の最初の画面が表示され、音楽が始まります。



この先は①『わかるパソコン入門』をご覧ください。



CD-ROMの
終わりがた



使いかたアドバイス

パソコンを使いこなすためのヒントを紹介します。

パソコンの機能を拡張しよう



プリンタを使いたい

セットアップが終わるとプリンタを接続できます。

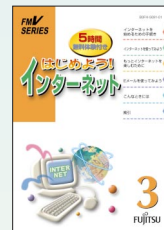
⑤『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。プリンタの接続と設定をしてください。また、プリンタに添付されているマニュアルも用意してください。

インターネットやパソコン通信をしたい

そんな場合には、パソコンと電話回線を接続しましょう。⑤『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。電話回線と接続してください。インターネットをしたいときは、③『はじめよう! インターネット』をご覧ください。

携帯電話をつなげたい

携帯電話をつないで、外でインターネットやパソコン通信などができます。⑤『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。接続の準備をしてください。準備ができたら④『困ったときのQ&A』をご覧ください。必要な設定をしてください。



電源を上手に使い分けよう

本パソコンはACアダプタかバッテリーで使うことができます。使う場所や時間に合わせてACアダプタとバッテリーを使い分けてください。

アドバイス

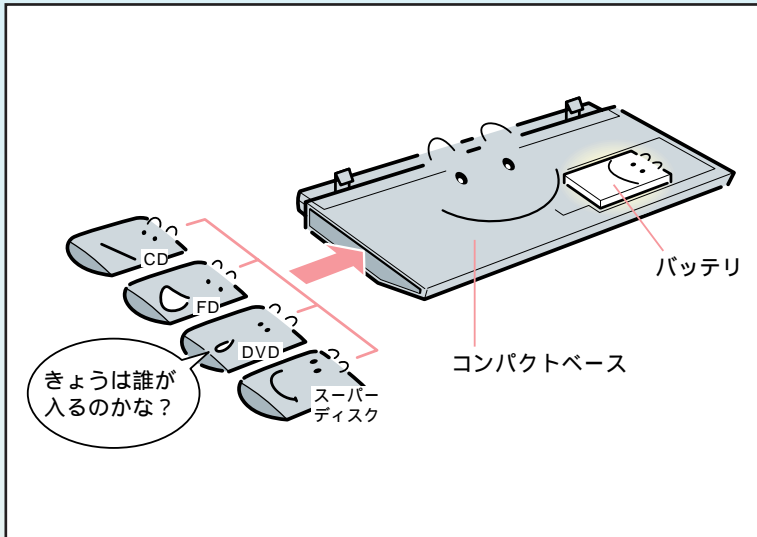
バッテリーの充電について

- ・お買い求め直後のバッテリーは、充電されていないことがあります。また、バッテリーは、自然放電します。ご購入直後や長期間使わなかったときはバッテリーを充電してください。
- ・充電するときはACアダプタを接続します。
- ・バッテリーの残量は、電源が入っているときに、状態表示LCDで確認できます。

詳しくは⑤『FMV 本体&オプションガイド』の「第2章 電源と節電機能」をご覧ください。



コンパクトベースを活用しよう



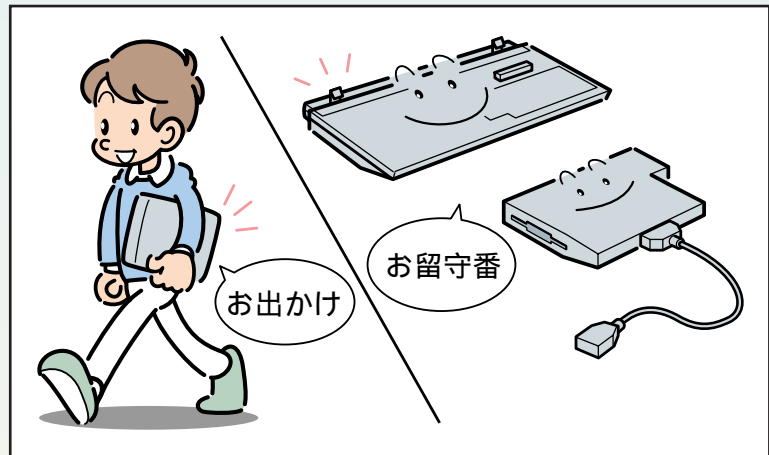
コンパクトベースには、さまざまなユニットや内蔵バッテリーユニットを取り付けられます。また、目的や場所に合わせて、コンパクトベースの取り付けや取り外しをしてください。

取り付けられるユニットは以下のユニットが取り付けられます。

- ・内蔵FDDユニット
- ・内蔵CD-ROMドライブユニット
- ・内蔵スーパーディスクドライブユニット（別売）
- ・内蔵DVD-ROMドライブユニット（別売）

内蔵バッテリーユニットを取り付けると内蔵バッテリーユニット（別売）をコンパクトベースに取り付けると、バッテリーでの使用時間が約2倍になります。

パソコンを携帯するときは本パソコンは、コンパクトベースや内蔵FDDユニットを取り外している状態では、薄型・軽量になります。携帯するときには身軽で便利です。



ユニットや内蔵バッテリーユニットの取り付けや取り外し方法について、詳しくは⑤『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。



重要

コンパクトベースにはユニットを取り付けて

コンパクトベースにユニットを取り付けていない場合、異物などが入ると故障の原因となります。必ずいずれかのユニットを取り付けてください。

電気を大切に・・・パソコンを一時停止する



パソコンを使っているときに、友達からの電話でつい1時間…。その間もパソコンは電気を使っています。そんなときには、「一時停止」の機能を使って節電することができます。

一時停止するには
SUS/RESスイッチを押します。もう一度押すと元の画面に戻ります。また、液晶ディスプレイを閉じても一時停止し、開くと元の画面に戻ります。

一時停止しているときは
画面が真っ暗になって、状態表示LCDの①が点滅します。
このとき、液晶ディスプレイの表示を消すなどして、電気を節約しています。

バッテリー切れで大切なデータが消えてしまった・・・ということがないように、こまめに節電しバッテリーの残量にも気をつけてください。
詳しくは⑤『FMV 本体&オプションガイド』をご覧ください。

パソコンは精密機械～長くお使いいただくために～

振動や衝撃に注意！

パソコンを自転車のかごに入れて走っていませんか？
とくに、電源が入っているときは扱いに気を付けてください。データを読み書き（状態表示LCDに②が表示）しているときに動かすと、ハードディスクが壊れる危険があります。

水分は大敵！

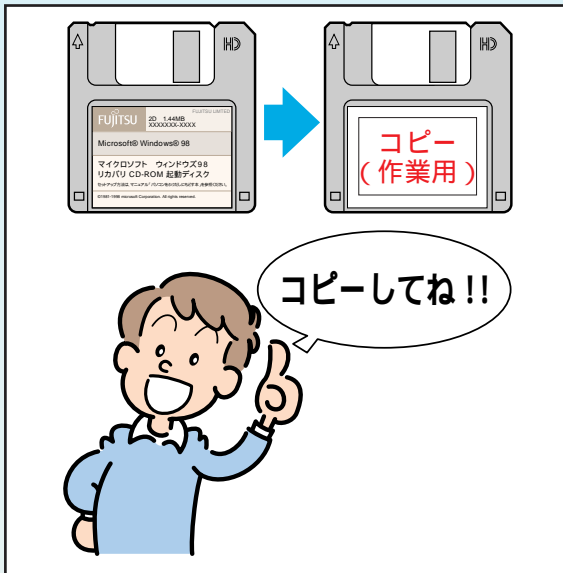
クーラーの効いた部屋から、炎天下の屋外へ…。急に温度が変わると、冷たいコップに水滴が付くのと同じで、結露が起こり、誤動作の原因に…。また、うっかりジュースをキーボードにかけたりすると、ショートする恐れがあります。

磁気のあるものを近づけない！

パソコンは磁気を使ってデータを保存します（ビデオやカセットテープと同じ）。大切なデータを守るために、磁気プレスレットをしてパソコンを使ったり、パソコンに磁石を付けたりしないでください。



万一の場合に備えて



本パソコンに添付されている「リカバリCD-ROM起動ディスク」は、突然のアクシデントに備えて用意されている大切なフロッピーディスクです。
パソコンに慣れてきたら、⑥『パソコンをふりだしにもどす本』の付録をご覧になり、必ず「リカバリCD-ROM起動ディスク」のコピー（作業用）を作成するようにしましょう。



問題解決の近道は？マニュアル（説明書）を読みましょう

パソコンには、いろいろなマニュアルが付いています。「何が
できるか？ どうするのか？ やってはいけないことは？...」
マニュアルに載っているたくさんの情報をお役立てください。



ユーザー登録をしましょう

ユーザー登録をしていただくことで、お知らせや製品情報などをお届けします。
保証書の封筒に入っている「ユーザー登録カード」をご覧ください、早めにユーザー登録を行ってください。

ユーザー登録には、4種類の方法があります。

- ・パソコン通信（フリーダイヤル）で登録する「オンラインユーザー登録」
- ・インターネットのホームページで登録する「インターネットユーザー登録」
- ・添付のハガキで登録する「ハガキによるユーザー登録」
- ・専用のシートをFAXで送信する「FAXによるユーザー登録」

特に、パソコンの近くに電話回線がある場合には、「オンラインユーザー登録」をお勧めします。
オンラインユーザー登録を使うと、パソコンと電話回線を利用して、簡単にユーザー登録が行えます。フリーダイヤルを利用しますので、電話料金はかかりません。

また、ここで入力した氏名や住所などは、インターネットプロバイダ（Infoweb）への加入契約やFMVソフトウェア登録などに引き継がれますので、同じ情報を何度も入力する必要がなくなります。

オンラインユーザー登録について詳しくは、添付の冊子『かんたん！ユーザー登録』をご覧ください。



MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved. Copyright©富士通株式会社 1999
画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

取扱説明書

B3FH-5011-01-00

発行日 1999年1月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。
落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

©9901-1

本マニュアルは、100%リサイクル可能な用紙を使用しています。